榛名神社社報

発行日　平成二十年七月十五日
発行所　沼田市榛名町二六五一
電話〇二七八(22)二六五五
http://harunamonori.com/
発行人　金子由紀子

榛名神社由緒記

御祭神

埴山姫命（はにやまひめのみこと）（生命守護・五穀豊穣の神）
倭建命（やまとたけるのみこと）（開運・土地守護の神）
菅原道真命（すがわらのみちざねのみこと）（学問守護・災難厄除の神）

摂社・末社

大国主命（おおくにぬしのみこと）（商売繁盛・良縁結び・病気平癒・交通安全の神）
琴平宮・熊野社・稲荷社（いなりしゃ）・産泰社・五柱社（ごちゅうしゃ）
厳島社・加茂社・面美様（めんびさま）

元縣社・利根沼田総鎮守

沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏、土岐氏と代々の城主の崇敬を受け、その由緒の品々が今も保存されている。特に本殿は享保二年（1529）沼田顕泰の建立、元和元年（1630）真田信之により改築され、豪壮華麗な桃山文化を今に伝える。

＝社頭講話＝「千の風になって」

新井満　日本語訳

私のお墓の前で　泣かないで下さい
そこに私はいません　眠ってなんかいません
千の風になって　千の風になって
あの大きな空を　吹きわたっています
秋には光になって　畑にふりそそぐ
冬はダイヤのように　きらめく雪になる
朝は鳥になって　あなたを目覚めさせる
夜は星になって　あなたを見守る

一昨年の大晦日の紅白をきっかけに、この詩は日本でもたくさんの人に知られるようになりました。誰がつくったのか今も不明ですが、イギリスやアメリカで、その時々に朗読されてきたとのこと。テロで亡くなった青年が両親に託したという話や、アメリカを襲ったテロで亡くなった父親に娘がこの詩を朗読したという話が、伝わっています。宗教や国境を越えて、この詩は受け入れられ、伝えられてきたのでしょう。

神道では、生きとし生けるものはみな、その使命をすべて果たしたとき、肉体を捨てて、魂だけの存在になると信じられています。霊魂は、奇・幸・和・荒の四つの魂からなり、人は亡くなると、奇魂と幸魂は神のもとに帰り、和魂は二つの世に近いところにいて、時には風となり、光となって子孫を守り、導き、やがては時間とともに清められ、神様の列に並んでいき、荒魂はお墓に鎮まり、やはり時間とともに清められていくといいます。いわゆる人間としての個性は和魂によるものといわれます。私はお墓にいない。風となり、光となり、雪となり、鳥となってあなたを見守る。・・・

「千の風になって」は外国で生まれた詩ですが、日本の民俗、神道と相通じる、壮大な普遍の原理を感じます。

昨年は若松氏子会長、清水敬神婦人会長が亡くなられました。近しい人が亡くなるのは、生きている私たちにとっては寂しい限りですが、ご冥福をお祈り申上げますと共に、千の風となって、私たちを見守っていただきたいと願っています。

式年遷宮奉賛協力のお礼

宮司　金子由紀子

氏子・崇敬者の皆様には、日頃より榛名神社の護持運営にご協力いただき、まことにありがとうございます。

来る平成二十五年の第六十二回式年遷宮にあたり、ご奉賛のお願いを致しましたところ、多くの皆様からご協力いただき、誠にありがとうございました。

三月までに式年遷宮奉賛会沼田利根支部、群馬県本部を通して、伊勢の神宮にお納めいたしました。

神宮ではこの四月、鎮地祭が行われ、来年は宇治橋渡始式が予定されております。平成二十五年八月には全国から一日神領民も参加できるお白石持ち行事があり、十月には遷宮のいろいろなお祭りが齋行される予定となっております。

皆様方におかれましては、地元の氏神様であります榛名大神様の厚いご加護を日々いただきますとともに、お伊勢さまの尊い御神徳をたまわりまして、愈々ご清栄であられますよう、心よりご祈念申し上げます。

【氏子総代平成２０年４月～】

平成二十年八月三・四・五日

◇祇園祭執行について◇

左記の通り、祇園祭についての日程等をご案内申し上げます。

一、日　程

八月三日(日)
午前七時二十分　神輿奉遷・神輿発幸祭　榛名神社
午前八時　車にて渡御　榛名神社→薄根町→清水町→榛名町→東倉内町→西倉内町→材木町→氏子区域→東原新町→西原新町→氏子区域→上原町→柳町→高橋場町→柳町　氏子区域
午後　一時頃　柳町祭典事務所着　柳町祭典事務所
午後三時　奉仕団により渡御　柳町を出発　仮宮
午後四時三十分　県社会の山車による奉迎　仮宮
午後六時　仮宮着御祭　仮宮

八月四日(月)
午後五時　恒例大祭　仮宮

八月五日(火)
午後四時　参集　奉仕団により御神輿の準備　仮宮
午後四時三十分　還幸祭　仮宮
午後五時　奉仕団により、還御
午後八時　須賀神社神輿、氏子区域山車との競演　市役所前広場
午後九時頃　境内に神輿到着予定　榛名神社
午後十時　宮入り・本殿着御祭　榛名神社

一、仮宮―市役所駐車場（金井燃料店様西隣）
一、本年度当番町　東倉内町（来年度当番町　榛名町）

【昨年の沼田まつり　五日夜クライマックス、縣社會の山車と神社神輿の共演】